

# INSIDE NATURE

1869年に創刊された *Nature* と、その後創刊された *Nature* 関連誌は、それぞれの研究分野に大きな進歩をもたらすような研究を見極めて出版し、世界中の研究者と協力して重要な研究成果を幅広い読者に届けることにより、科学研究を支えてきました。

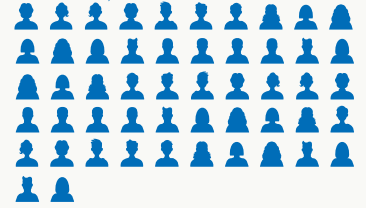
## スタッフ

286人の優秀な専門スタッフが、日々、*Nature* および *Nature* 関連誌の制作に携わっています。



最高の科学研究の成果を見極め、キュレーションする作業に従事する **193人のプロの編集者**は、全員が博士号取得者であり、研究者として研究に従事した経験を持っています。編集者は今も学界と深く関わり、各分野の最新の動向を常に把握し、世界中の研究機関の研究者と交流しながら、全ての投稿に対して公平な姿勢で臨んでいます。

**52人の図版担当者、制作担当者、コピーエディター**が、研究成果を最大限に分かりやすく、読みやすく、魅力的なものにします。



**38人の編集アシスタント**が、出版過程の全段階を通じて著者と査読者をサポートします。

**3人の広報担当者**が、著者やジャーナリストと協力して、優れた研究成果が世界中の読者に正確に伝わるようにします。

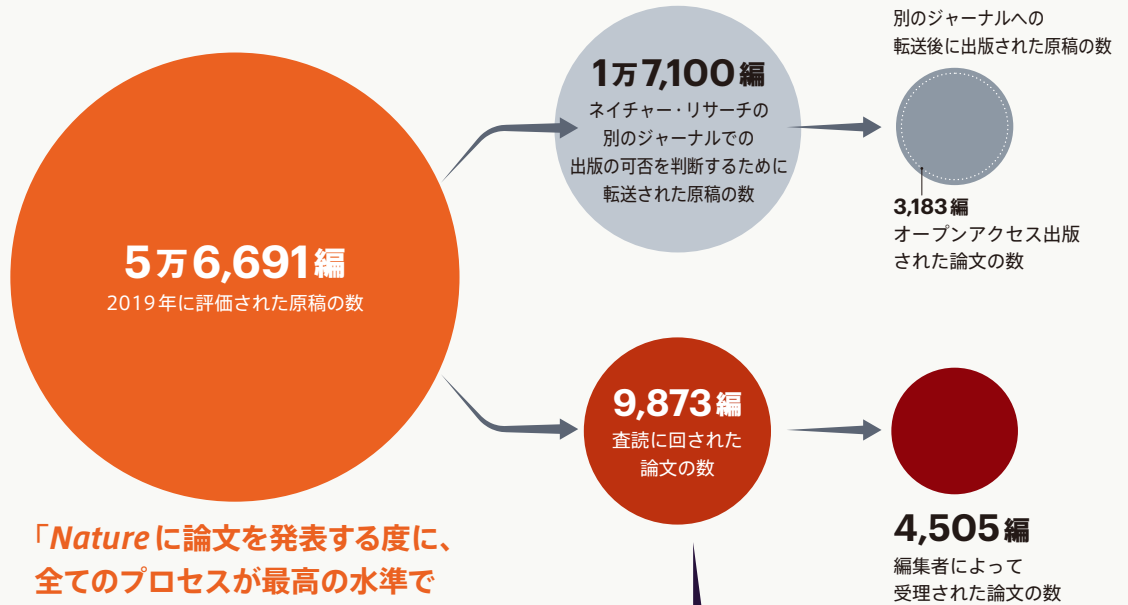
## 論文のキュレーションと質の向上

ネイチャー・リサーチの編集者は、出版すべき最も重要な研究を評価・選定し、著者や査読者と協力して原稿の質を大幅に向上させます。

ジャーナルにかかる労力全体の約半分は、こうした厳密で手間のかかる査読プロセスに私たちがかけるものです。

### 論文が出版されるまでの流れ

*Nature* および *Nature* 関連誌では、毎年5万編以上の原稿が読まれ、その質と公正性を評価されています。



「*Nature* に論文を発表する度に、全てのプロセスが最高の水準で行われていることを実感します」  
助教授 / 英国



#### 報告基準

私たちは2013年に、分析および実験デザインの詳細な報告と統計解析を義務付ける再現性チェックリストを導入しました。

**83%**

調査に回答した著者の83%が、私たちのチェックリストによって、*Nature* に掲載された論文中の統計データの報告が大幅に改善されたと感じています。



#### データとコードの利用可能性

私たちは論文の透明性を高め、再利用を促すために、論文の出版に合わせてコードとデータが確実に保管されるようにすることで、コミュニティを支援しています。私たちがデータの保管を積極的に奨励したことで、一部の分野では、出版された論文に関連したデータの入手可能性が約50%から80%以上まで向上しました。



#### プロトコル

私たちは、論文著者に対し、関連するプロトコルをオープン・シェアリング・プラットフォーム Protocols Exchange に投稿するよう推奨しています。これらは統計解析だけでなく分析および実験デザインについても有益で詳細な報告を提供します。

## 透明性とオープンリサーチ

私たちのジャーナルは、オープン性、厳密性、再現性を向上させるためのイノベーションに取り組んでいます。

### 査読におけるイノベーション

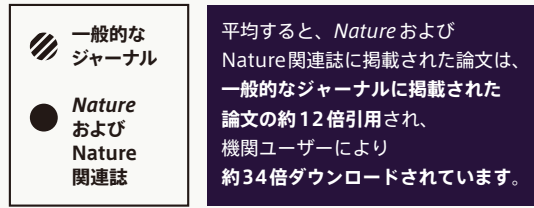
- ・コードの査読
- ・倫理とバイオセキュリティの査読
- ・論文と共に査読コメントを掲載
- ・査読者による貢献を公に認知されるものにするため、査読者から希望があった場合には査読者の名前を論文と共に公表

# リーチと インパクト

私たちの出版プラットフォーム nature.com と国際プレスチームは、最高の研究成果を、最も広く、最も関連のある読者に届けています。私たちの労力の約50%は論文受理後のプロセスに向けられており、研究をできるだけアクセスしやすく、発見されやすく、広範囲に届けるための努力に重点を置いています。

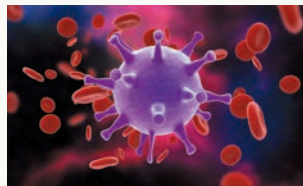
## 読者と利用

私たちは、研究者が読者を獲得し、その最も重要な研究成果が読まれ、理解され、後の研究の基礎となるようお手伝いします。



## ニュースになった研究

私たちの専任の国際プレスチームは、2019年には**10万件以上のニュース発表**を手掛け、著者が、研究者や政策立案者、一般の人々に対して正確かつ明快にニュースを届けることができるよう支援しました。



GuptaらがNatureに発表した論文「HIV-1 remission following CCRΔ32/Δ32 haematopoietic stem-cell transplantation (CCR5Δ32/Δ32造血幹細胞移植後のHIV-1感染の寛解)」は、The Wall Street JournalやFinancial TimesからTIMEやRolling Stoneまで、5500以上のニュース報道や特集で取り上げられました。



TsiarasらがNature Astronomyに発表した論文「Water vapour in the atmosphere of the habitable-zone eight-Earth-mass planet K2-18b (ハビタブルゾーンにある地球の8倍の質量の系外惑星K2-18bの大気中で水蒸気が検出された)」は、The New York Times、China Daily、Al Jazeeraを含む4000以上の国際ニュースで取り上げられました。



ICGC/TCGAのPan-Cancer Analysis of Whole Genomes Consortiumが発表した一連の論文「Pan-cancer analysis of whole genomes (がん種横断的全ゲノム解析)」は、Financial TimesやThe Timesなどの多くの全国紙の1面を含め、2500以上のニュースで取り上げられました。

## 話題になった研究

過去1年間にNatureおよびNature関連誌に発表された論文が言及された回数：



## 影響力のある研究

NatureおよびNature関連誌に発表された論文に掲載された論文は、過去1年間に**9,489件の政策文書で言及されました。**



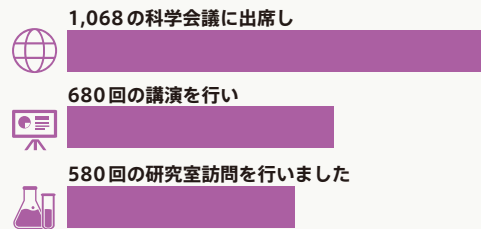
SpringmannらがNatureに発表した論文「Options for keeping the food system within environmental limits (フードシステムを環境の限界内にとどめておくための選択肢)」は、ユニセフ、国連食糧農業機関、世界経済フォーラムなどの多くの政策文書に取り上げられました。

# コミュニティとの関わり

私たちは学術コミュニティと深く関わって理解し、研究者に情報を提供して、研究者が適正に認知されるための取り組みを支援することをお約束します。

## コミュニティとの関わり

Nature Researchの編集者は2019年に：



「科学コミュニティとの関わりはNatureを支える基礎です。私たちは、会議や研究機関で現役の研究者と交流することで、刺激を受け、本質を掴み、インスピレーションを与えられることも多いです」。

Ritu Dhand/Natureジャーナル編集担当バイスプレジデント

## 協力関係

私たちはORCID、DORA、TOP Guidelines、COPEなどの研究コミュニティ・イニシアチブを支持し、これらを編集・出版プロセスに組み込んでいます。



## Data sources

- Citation data from Scopus for primary articles published in 2015
- Altmetrics data from Altmetric
- Institutional downloads use COUNTER data
- Nature Research staff numbers from 2019
- Nature Research manuscript numbers from 2019

\*Parts of the Springer portfolio have been used to provide comparison data for a typical journal

Image credits  
ESA/Hubble, M. Kornmesser;  
Nik Spencer/Nature; Shutterstock